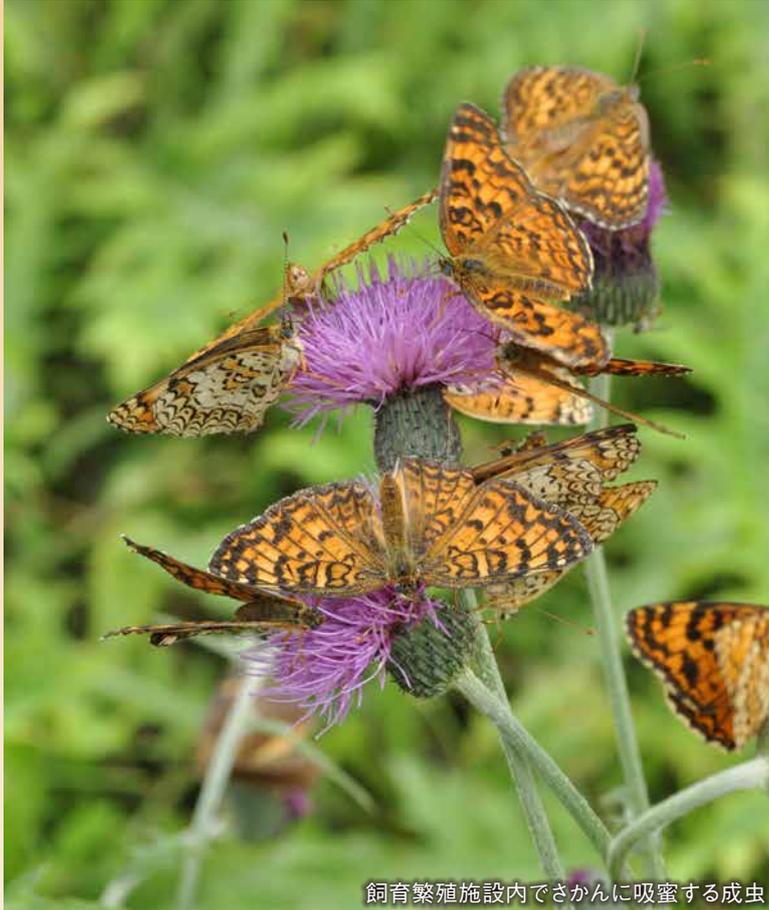


Action for Butterflies

チョウの舞う豊かな自然を将来へ



飼育繁殖施設内でさかんに吸蜜する成虫



飼育繁殖

農業用のビニルハウス資材を改良して作った飼育繁殖施設。内部には、食草と吸蜜植物を植えている。施設は2棟で、全体で5つのスペースに分かれており、遺伝的な多様性を維持するという目的で5つの個体群を飼育している。



国内で最も絶滅が危惧されるチョウ、ヒョウモンモドキ

ヒョウモンモドキは、日本で現在もっとも絶滅が危惧されるチョウで、その減少率は98%と、もっとも高くなっています。

当協会では、これまで生息状況のモニタリングと生息地管理に重点を置き、保全活動を設立当初より継続して行ってきました。しかし、減少は時間の経過とともに加速的に進行しており、全体的な減少を食い止めることが困難な状況にあります。特に、2009年の7月に生息地一帯が非常に強風に見舞われたことで多くの卵や幼虫が食草から脱落したことは、非常に大きなダメージで、保全を進める上での大きな痛手となりました。

すでに生息地が非常に限定され、絶滅の一手前まで来てしまっていることから、2010年度以降、取り組みにさら

に重点を置いています。

生息環境の維持・復元のため、地元の「ヒョウモンモドキ保護の会」とともに重点的な保全エリアを設定し、10カ所以上での生息地管理を進めています。現在生息している場所では、これ以上生息環境が悪化することのないように、植生の状況を好適に維持しているほか、一度いなくなってしまった場所で自然の飛来や再導入による定着が期待できる場所での環境整備も進めています。さらに、自然状態での個体群の回復を助けるために、減少あるいは消滅した場所に飼育増殖した個体を放すこと（補強あるいは再導入）が必要となっているため、2010年度より、地元で飼育繁殖事業が進められており、当協会も協力しています。飼育繁殖

生物多様性の喪失は、取り返しのつかない状況へと日々進行しています。

日本国内でも、すでに絶滅してしまった動植物は少なくありません。チョウ類では約4分の1の種類がレッドデータブックに掲載され、現在も地域的な絶滅が相次いでおり、非常に深刻な状況となっています。

このままでは、多様で豊かだった日本の自然は失われ、単調な環境へと変化していくでしょう。

非常に大きな課題を抱える中、当協会では、まずは国内からチョウ類の絶滅種を出さないよう、絶滅危惧種の保全に重点をおいた活動を進めています。



当会会員の津田和夫さんが管理されるヒョウモンモドキの保全区域



作業前



草刈りの作業中



ノアザミの植栽



作業後

生息地の管理作業

1ヵ所あたり、5,6人で1日の作業となる。湿地の植生を維持・回復させるために草刈りを行うほか、成虫の吸蜜植物であるノアザミの植栽も行っている。ノアザミの植栽は、より多くの卵を産卵してもらうことと同時に、なるべく多くのメスに、発生した場所に留まってもらうことを目的としている。生息地が孤立化している中で、メスが近隣の生息地へと移動することは非常に困難なためである。

事業では、ヒョウモンモドキの遺伝的な多様性をどう維持していくのか、が非常に大きな課題であり、これを確保・維持していくために、現在5つの異なった集団を区分して飼育しています。

また、危機的な状況を受けて、本種は2011年4月、「絶滅の恐れのある野生生物を保全するための法律（種の保存法）」で「国内希少野生動植物種」に指定され、保全の位置づけが以前よりも明確になりました。ヒョウモンモドキの

絶滅を食い止めるためには、より本格的な対策を行っていくことが必要です。

これを機に、環境省や地域の行政によって具体的な保全策および実施体制が検討されることとなっており、今後は、より根本的な対策が行われることが期待されます。

当協会では、これまでの活動を重点的に継続していくほか、行政等への保全対策の提言などを積極的に行っていきます。

絶滅危惧種についてはすべてを紙面でご紹介することはできませんが、2010年4月～2011年7月に、事務局で調査や保全の実施、活動への協力を行った対象は、ヒョウモンモドキの他には右のとおりです。こうした活動は、会員や地域住民の皆様をはじめ、多くの方々のご参加・ご協力をいただきながら進めています。ここに深く謝意を表するとともに、今後も引き続きのご参加・ご協力をお願いいたします。なお、これらの取り組みには、三井物産環境基金の助成および環境省の事業などを受けています。

調査や保全の実施、協力を行った対象

- チャマダラセセリ▶岩手県・福島県・長野県
- ヒメチャマダラセセリ▶北海道アポイ岳
- ギフチョウ▶大阪府
- ミヤマシロチョウ▶群馬県・長野県・山梨県
- オガサワラシジミ・オガサワラセセリ▶小笠原諸島
- チョウセンアカシジミ▶岩手県・山形県
- ゴマシジミ▶山梨県・広島県
- クロシジミ▶兵庫県
- タイワンツバメシジミ▶長崎県
- ウスイロヒョウモンモドキ▶鳥取県